

## TIMETABLE

4/27 SAT	12:30 憎しみ トークセッション:1	15:50 ハンズ・アップ!★
4/28 SUN	12:30 私が女になった日★	14:45 ファルハ トークセッション:2
4/29 MON	12:30 アユニ／私の目、愛しい人★	14:30 炎のアンドルシア トークセッション:3
4/30 TUE	12:30 スターリンへの贈り物★	15:00 メークアップ・アーティスト トークセッション:4
5/1 WED	12:30 私は今も、密かに煙草を吸っている★	15:00 戦禍の下で トークセッション:5
5/2 THU	12:30 ハーミド～カシミールの少年★	15:15 アユニ／私の目、愛しい人 トークセッション:6
5/3 FRI	12:30 辛口ソースのハンス一丁 トークセッション:7	15:30 私は今も、密かに煙草を吸っている★

★上映後ミニ解説がございます。

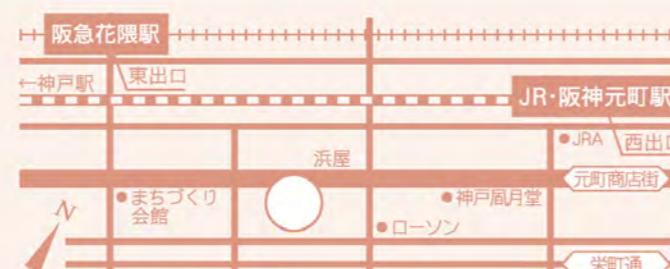
## TALK SESSION

トークセッション 1	4/27 sat 『憎しみ』上映後 2023年「暴動」をふり返る — 郊外(パンリュー)映画とフランスの移民事情	ゲスト：森千香子 同志社大学社会学部教授
トークセッション 2	4/28 sun 『ファルハ』上映後 ホロコーストとナクバ — 起源の暴力と暴力の起源	ゲスト：岡真理 早稲田大学文学学術院 教授／アラブ文学者
トークセッション 3	4/29 mon 『炎のアンドルシア』上映後 声をあげろ、歌える限り — 中世アンドルスが照射する現代エジプト社会	ゲスト：中町信孝 甲南大学文学部教授
トークセッション 4	4/30 tue 『メークアップ・アーティスト』上映後 女性たちの反ヒジャーブ運動と、イランを知るための映画・文学	ゲスト：村山木乃実 日本学術振興会特別研究員PD(東京大学)
トークセッション 5	5/1 wed 『戦禍の下で』上映後 我々は映像で闘う — 2006年第二次レバノン戦争とレバノン映画人(オンライン)	ゲスト：佐野光子 アラブ映画研究者
トークセッション 6	5/2 thu 『アユニ／私の目、愛しい人』上映後 震災後のシリア北西部と14年目のシリア革命(オンライン) ※ゲストの都合により事前録画に変更となる場合がございます。	ゲスト：山崎やよい アラビア語通訳／「イブラ・ワ・ハイ」発起人 NPO法人 Stand with Syria Japan 監事
トークセッション 7	5/3 fri 『辛口ソースのハンス一丁』上映後 「ドイツのアリはないのか？」 — トルコ系移民二世の恋愛と家族関係	ゲスト：渋谷哲也 ドイツ映画研究者／日本大学文理学部教授

動画撮影、録音は固くお断りいたします。ゲストが予告なく変更、またはトークセッションが中止となる場合がございます。イベント時間は各回45分～1時間を予定しています。

## TICKET/ACCESS

一般	1700円
シニア(60歳以上)	1300円
学生・障害者	1000円
神戸映画サークル会員	1300円
サポートーズクラブ	1200円
ファーストデー	1300円(5月1日)
月・金曜いっしょ割	2名以上でのご利用でおひとり 1300円
3回券	4200円 ※映画祭期間中のみ販売



元町映画館  
住所：神戸市中央区元町通4丁目1-12  
電話：078-366-2636 HP: www.motoeji.com

■注意事項 時間は上映開始時刻です。日によって異なりますのでご注意ください。各回入替制、全自由席で、整理番号順でのご入場となります。整理番号付チケットは、劇場オープン(10:00 AM)と同時に当日の全回分を販売いたします。満席の場合はご入場いただけません。上映作品が予告なく変更となる場合がございます。上映素材によっては映像や音声に不具合のある場合がございます。



## EGYPT



『炎のアンダルシア』 with Japanese and English subtitles

監督：ユースフ・シャヒーン  
原題：Al-Masir 英題：Destiny 製作国：エジプト＝フランス  
1997年 135分 アラビア語／フランス語

12世紀末、ムワッヒド朝下のアンダルス。カリフの次男アブダッラーは踊りが好きな若者だったが、イスラームの過激思想に取り込まれ歌を忌避するように。大法官であり哲学者のアヴェロエスにも、焚書の危機が迫りつつあった…。

【解説】実在のムスリム哲学者を主人公に、イスラーム支配下にあった中世のスペイン南部を舞台に描く、エンタメ要素満載の歴史大作です。20世紀末のエジプト社会を反映しながら、現代にも通じる普遍的なテーマを語っています。

## LEBANON



『戦禍の下で』 with Japanese and English subtitles

監督：フィリップ・アラクティン  
原題：Sous les Bombes 英題：Under the Bombs  
製作国：フランス＝レバノン＝イギリス 2007年 93分 アラビア語／英語／フランス語

戦争が停止され、出先のドバイから戻ってきたゼイナ。彼女はタクシー運転手のトニーを雇い、行方不明の妹と息子を探し始める。街はどこも戦火を逃れた人々の悲痛な声であふれ、レバノン南部は文字どおり瓦礫の山と化していた…。

【解説】2006年のイスラエルによる第二次レバノン侵攻後、1年足らずの間に撮影された戦禍をたどるドラマです。息子を探す主人公の道行が、実際の被災地や被災者の声をめぐらまるでドキュメンタリーの役割もなしています。

## IRAN



『私が女になった日』 with Japanese and English subtitles

監督：マルズィエ・メシュキニ  
原題：Rouzi Ke Zan Shodam 英題：The Day I Became A Woman  
製作国：イラン 2000年 74分 ベルシャ語

ハッフはチャードルを初めてまとう日を迎える。もう男の子と遊んではいけないと言われる。離婚を望むアーフーは自転車レースに挑むが、夫が馬で追いかけてくる。年老いたフーラは、かつて夢見た結婚式を叶えるべく買い物をするが…。

【解説】イランのイスラーム社会における女性の置かれた状況を、3つの世代の女性を主人公とするオムニバス形式で綴っています。ベルシャ湾に浮かぶキシキ島の風景と、それぞれの物語が示す現実との差が深い余韻を残す逸品です。

## ALGERIA



『私は今も、密かに煙草を吸っている』 with Japanese and English subtitles

監督：ライハーナ  
原題：A mon âge je me cache encore pour fumer 英題：I Still Hide to Smoke  
製作国：フランス＝ギリシャ＝アルジェリア 2016年 90分 アラビア語／フランス語

1995年、アルジェ。ハマムで働くファーティマは、出勤途中に爆弾テロを目撃する。彼女がハマムの準備をしていると、妊娠した16歳のマリアムが避難を求めて現れ、ファーティマは他の女性客にバレないようマリアムを匿う…。

【解説】アルジェリア軍とイスラーム主義勢力との内戦中フランスへ亡命した作者が、抑圧下の女性たちを描く自身の戯曲を映画化した人間ドラマです。全編におよぶハマムのシーンはギリシャで、女性スタッフのみで撮影されました。

※本作には性暴力を描いたシーンがございます。

## 日本初公開



## SYRIA



『アユニ／私の目、愛しい人』 with Japanese and English subtitles

監督：ヤスミーン・フッダ  
原題：Ayouni 製作国：シリア＝イギリス  
2020年 74分 アラビア語／英語／イタリア語

パオロ・ダル・オグリオ—2013年7月29日、ラッカで強制失踪。バーセル・サファディー—2015年10月3日、ダマスカスで強制失踪。バーセルのパートナー、ヌーラとパオロの妹マチは、最愛の人の消息を今日も探している…。

【解説】シリアのアサド政権下で続く人道犯罪、強制失踪の被害者家族を追ったドキュメンタリーです。民衆革命が起きた2011年3月から現在まで、被害者は10万人以上。その一人ひとりに愛と人生があることを教えてくれます。

※本作には暴力的な映像が含まれています。

## 日本初公開



『ファルハ』 with Japanese and English subtitles

監督：ダリン・J・サラム  
原題：Farha 製作国：ヨルダン＝スウェーデン＝サウジアラビア  
2021年 92分 アラビア語／ペルシャ語／英語

1948年。ハレスチナのある村に暮らす14歳の少女ファルハは、伝統に縛られない都会の学校へ進学したいと望んでいた。父に願いを聞き入れられ、よろこぶファルハだったが、やがて彼女の村にも民族浄化の波が押し寄せてくる…。

【解説】イスラエルによるパレスチナの民族浄化、“ナカバ（アラビア語で“大災厄”）”を目の撃する少女の物語です。作者が母親から聞いた、ある難民女性の物語がモチーフとなっており、主人公の恐怖が濃密な緊張感で描かれています。

上映素材提供：SKIPシティ国際Dシネマ映画祭

## GERMANY



『辛口ソースのハンスー丁』 with Japanese and English subtitles

監督：ブケット・アラクシ  
原題：Einmal Hamm mit scharfer Soße 英題：A Spicy Kraut  
製作国：ドイツ 2013年 92分 ドイツ語／トルコ語

ドイツ人の彼氏と別れた、トルコ系移民二世のハティジェ。妹ファトマの妊娠が発覚し、彼女が結婚するためには自分がまず先に結婚相手を見つければならない。妊娠が親にバレる前に、ハティジェは偽りの婚約者探しを始める…。

【解説】強制送還されそう非正規滞在のチェチェン少女を、同級生たちが守ろうとする幼くも骨太なレジスタンス映画です。大人のいた境界線なんて関係ない子どもたちの世界が、大人の世界との対比でみずみずしく描かれます。

## INDIA



『ハミド～カシミールの少年』 with Japanese and English subtitles

監督：エージャーズ・ハーン  
原題：Hamid  
製作国：インド 2018年 108分 ウルドゥー語／ヒンディー語

ヒマラヤ山脈の麓、カシミール。父親が失踪し、母親と2人で暮らす7歳のハミドは、ある日「786」という数字が神を示すものであると知る。父を返してもらえるよう、ハミドは神様の番号に電話をかけるが、つながったのは…。

【解説】第二次大戦後、スターリンの強制移住政策によって中央アジアに送られた人々が、地元の人間と宗教や民族を超えて共生する姿が叙情味豊かに描かれます。雄大な自然と人類の歴史を対比させた、悲しくも温かい作品です。

## KAZAKHSTAN



『スターリンへの贈り物』 with Japanese subtitles

監督：ルスタム・アブドゥラシェフ  
原題：Podarok Stalini 英題：The Gift to Stalin 製作国：カザフスタン＝ロシア＝ポーランド＝イスラエル 2008年 96分 ロシア語／カザフ語／ペルシャ語

1949年。カザフの鉄道員カシムは、列車で送られてきたユダヤ人の死体の中に、幼い少年を見つける。カシムはその子を助け、村の人々と育てるに。ならばと一計を案じたミーナは、理想的な二番目の妻を自分で探し始めるが…。

【解説】自分の夢を叶えるため、伝統的価値観にこだわる夫や義母に負けじと、丁々発止の日々を繰り広げる女性を追ったドキュメンタリーです。政治を超えた異なる者同士の対話を可能性を、エモーションナルに描いています。

※本作には性暴力を描いたシーンがございます。